

哲学委員会（第25期・第10回）
議事要旨

日 時：令和5年4月23日（日）18：30～20：00

場 所：オンライン会議にて開催

出席者：吉岡洋（委員長）、吉水千鶴子（副委員長）、島菌進、土井健司、中島隆博、中村征樹、納富信留、野家啓一、藤原聖子、奥田太郎（幹事）

欠席者：佐野みどり、小林傳司（第一部幹事）、芦名定道（幹事）

1 前回議事録の確認

前回議事録について確認を行った。

2 第一部会・総会の審議報告

吉岡委員長より、第一部会および総会での議事に関する報告があった。総会では、改正法案について、内閣府担当者の説明とそれを受けた質疑応答が行われたこと、勧告文と声明文についても議論されたこと、また、第一部会では、「意見」等の表出について現在出ているものの一覧表が共有されたこと、が報告された。また、改正法案が見送られたため、会員選出については現行の方法で行うことになったことも報告された。

3 新年度予算（旅費・手当）配分方法の決定

予算については若干減少したが例年通りであり、計画的に執行することが確認された。

4 本年度のシンポジウムの日程とテーマの確定

2023年度の公開シンポジウムについて、日程、企画責任者、テーマ、提題者（候補）について協議され、下記の通り決定した。

開催方式：全面的にオンラインで開催

日 程：令和5年12月2日（土）あるいは3日（日）

／11月25日（土）あるいは26日（日）

テーマ：AI時代における哲学・美学・倫理・宗教（仮）

開催方式：対面。学術会議の講堂。Zoom ウェビナーで配信。

企画責任者： 中村征樹

提題者候補： 藤原聖子（宗教：連携会員）

第三部の会員 or 連携会員から AI の専門家

外部のゲスト2名（美学、工学）

コメンテータ：連携会員あるいは外部のゲスト2名（哲学、倫理）

企画責任者が後ほどメールでコンセプト案を提示し、内容をさらに明確化して、提題者候補に打診することとなった。

5 各分科会の活動計画

- ✓ 芸術と文化環境分科会：4/21、オンラインで分科会を開催。今年度もシンポジウムを開催。内容の詳細は未定。
- ✓ 古典精神と未来社会分科会：本の作成中。5/12に見本ができる予定。高校生を招いてのワークショップも予定。連休明けに詳細を決める予定。
- ✓ いのちと心を考える分科会：4/16、分科会を開催。第一年目にトリアージ、続いて尊厳死・安楽死に関して審議を重ねている。来期につなげてこのテーマで審議をしていく予定。
- ✓ 哲学・倫理・宗教教育分科会：道徳教育における情報テクノロジーの扱いについて意見交換をする予定。
- ✓ 世界哲学構築のための分科会：FISPの総会に合わせたシンポジウムを東大本郷で開催の予定。

6 次回開催について

次回の哲学委員会の開催日は、後日調整することとなった。